



厳しい寒さが続くこの頃ですが、子どもたちは、ひんやりとした空気を肌で感じたり、吐く息の白さを楽しんだり、小さい体で季節を感じながら過ごしています。寒さに負けず、この時期ならではの自然に触れることができるよう、積極的に園庭遊びを取り入れていきたいと思っています。



ドキドキしながら迎えた豆まきがありました。鬼のパンツのダンスや豆まきの歌が大好きで、毎日張り切って練習を頑張っていました。ノリノリで踊る姿はとても可愛く、特に「強いぞ～」の振り付けでは、足を強く踏み込んで精一杯表現して楽しんでいました。

豆まき当日は、鬼のお面を嬉しそうに被り、鬼のパンツを踊ってやる気満々な子や、少しずつ怖くなり表情が曇っていた子など、様々な思いで豆まきに参戦しました。

今年は、うさぎ組の部屋から豆まきの様子を見学しました。初めは、何が起きているか気になり窓ガラスにくっついてじっと豆まきの様子を見つめていましたが、ついに鬼がうさぎ組の部屋を覗くと、体が動かない子や、号泣をしている子、保育教諭の後ろに隠れる子など鬼を目の前にして怖がっている様子でした。豆まきが終わった後は、泣いている友達を見つけて、

頭を撫でてあげたり、心配そうに見守ったりする優しさにホッコリしました。豆まきを経て、新鮮な体験ができ、子ども達の大きな刺激になったと思います。りす組の子ども達が、これからも健康で幸せに過ごせますよう願っています。



園庭にたくさん雪が積もった日には、雪遊びを楽しみました。一面真っ白な景色に「うわ～！」と大興奮な子ども達は、園庭へ走って向かっていました。雪を触って冷たさや、足で雪を踏む感触を感じて充実な時間が過ごせました。しばらくして雪に慣れてくると、保育教諭や友達と一緒に雪合戦をしたり、雪玉を転がしたりと遊び方にも変化が見られました。「えい！」「よーし、やったな～！」と競い合ったり、雪の上に手型を作って、「これ、しえんしえ（先生）の手！こっちは、〇〇の手！」と会話を交わしながら遊んだりする姿もあり可愛かったです。終始大喜びで、寒さも忘れて思う存分雪遊びができ、とても満足気でした。冬ならではの遊びを通して季節を感じる事ができ良かったです。



2月になり、りす組での生活も残りわずかとなりました。この数ヶ月でできることが1つ1つ増え、日々成長を感じています。身の回りのことだけではなく、食事マナーについても意識して出来ることが増えてきました。お皿に手を添えて食べる事や、食べたい物が入っているお皿を目の前に持ってくる事など、細かな事にも少しずつ意識ができるよう、毎日繰り返し声掛けをする中で、「こう？」と確認をし、自然とできるようになってきました。他にも、朝のお集まりで「誓いの言葉」が始まると、手を後ろに組んで、お姉さんお兄さんの言葉に合わせて一生懸命言葉を言ったり、「トントン前～」と声掛けに合わせて前ならえをしたりと、細かい動作にも自信を持って取り組んでいます。こうして1つ1つ出来ることが増えてくる中で、もうすぐ進級する実感が沸き、少し寂しい気持ちもありますが、子ども達の成長を近くで見守ることができることを嬉しく思っています。

・ 3月の予定 ・

3日（月）ひな祭り

14日（金）身体測定・お誕生会・お別れ会

31日（月）修了式

